

特定非営利活動法人日本栄養改善学会NPO第11期1月度理事会議事録

- I. 日 時：平成26年1月11日（土）13:15～16:30
- II. 場 所：東京都港区 TKP田町カンファレンスセンター B1会議室
- III. 出席者数：理事総数26名 出席理事数25名（内委任出席3名）
- IV. 出席理事氏名：木戸康博（理事長）、鈴木公（副理事長）、荒川義人、池本真二、石田裕美、石見佳子、岡純、笠原賀子、亀井明子、川島由起子、齋藤長徳、酒井映子、坂井堅太郎、酒井徹、鈴木和春、田中弘之、富田教代、新澤祥恵、早瀬仁美（第62回学術総会会長）、春木敏、藤田修三、八木典子、上西一弘（委任出席）、河野美穂（委任出席）、南久則（委任出席）
- 欠席理事氏名：寺本房子
- 出席監事氏名：酒元誠治、林静子
- その他の出席者：伊達ちぐさ第60回学術総会会長、中村丁次第61回学術総会会長

V. 審議事項

【I. 庶務関連事項】

1. 今期の役員体制
2. 次期評議員候補者の選出
3. 役員選出方法の見直しー関連細則の改定ー
4. 学術総会剰余金ー支部追加活動費ーにかかる規程の改定
5. 今後の会議予定
6. 日本学術会議会員及び連携会員候補者に関する情報提供

【II. 財務関連事項】

1. NPO第11期経費執行状況
2. NPO第11期会員（会費納入）の状況
3. 平成26年4月1日消費税率引き上げの対応

【III. 編集関連事項】

1. 栄養学雑誌投稿・掲載等の状況

【IV. 学術関連事項】

1. NPO第11期事業執行状況
2. 平成26年度学会賞・奨励賞の選考
3. 第60回学術総会開催報告
4. 第61回学術総会準備状況
5. 第62回学術総会準備状況
6. 第63回（2016年）学術総会会長候補者の推薦
7. 倫理審査委員会報告
8. 実践栄養学研究セミナーin横浜（2014年開催）事業
9. 関連学協会等との連携
 - （1）生活科学系コンソーシアム「第2回シンポジウム」周知協力
 - （2）日本学術会議健康・生活科学委員会家政学分科会「公開シンポジウム」周知協力
 - （3）公益社団法人米穀安定供給確保支援機構「平成25年度食育健康サミット」後援
 - （4）日本小児科学会・日本小児保健協会・日本小児科医会「第8回子どもの食育を考えるフォーラム～小児における食の安全～」後援
 - （5）独立行政法人国立健康・栄養研究所「アジア栄養ネットワークシンポジウム」後援
 - （6）公益財団法人不二たん白質研究振興財団「公開講演会大豆のはたらきin福岡ー食を通して

健やかな人生をー」協賛御礼・開催報告

- (7) 公益財団法人日本食品化学研究振興財団「平成26年度研究等助成対象者募集」周知協力と「平成25年度後期シンポジウム開催等助成決定」報告
- (8) 笹川スポーツ財団「2014年度笹川スポーツ研究助成募集」周知協力
- (9) 公益財団法人日本心臓財団「第3回日本心臓財団・日循協・アストラゼネカ臨床疫学研究助成」周知協力
- (10) 乳の学術連合「平成26年度学術研究公募」周知協力
- (11) 公益財団法人住友生命健康財団「2013年度スミセイコミュニティスポーツ推進助成プログラム」選考結果報告

【V. 広報関連事項】

1. ホームページ事業

【VI. 国際関連事項】

1. 大韓地域社会栄養学会との学術交流
2. IUNS栄養学のリーダーシップ育成国際ワークショップ
3. 第12回アジア栄養学会議（ACN2015）共催企画
4. 2021年（第22回）国際栄養学会議（ICN）

【VII. 支部会報告】

1. 北海道支部会
2. 東北支部会
3. 関東・甲信越支部会
4. 北陸支部会
5. 東海支部会
6. 近畿支部会
7. 中国支部会
8. 四国支部会
9. 九州・沖縄支部会

【VIII. 回覧資料による各種報告】

1. 学会誌転載許諾
 - (1) サラヤ株式会社
 - (2) お茶の水女子大学附属図書館（機関リポジトリ）
 - (3) 医療法人博仁会志村大宮病院
2. 一般社団法人出版社著作権管理機構「複写にかかる著作権使用料（平成24年度分）」の分配報告

VI. 議事の経過の概要及び議決の結果

【I. 庶務関連事項】

1. 今期の役員体制・・・平成25年11月1日付就任の役員・各種委員会委員の名簿が配付された。前回理事会で理事長に一任した検討会（管理栄養士養成課程における教育のあり方に関する検討会、利益相反マネジメントに関する検討会）委員については、役付理事で検討を進めていくことが報告され、これを了承した。
2. 次期評議員候補者の選出・・・次の選出スケジュールを承認した。正会員数を基準に算出した支部会別評議員数が配付された。次期評議員候補者選出にあたり、この評議員数を目標とすることを確認した。

[選出スケジュール]

1月22日 推薦依頼文書送付（全評議員、日本栄養士会長）

- 1月22日 次期評議員（候補者）就任承諾の確認文書送付（細則第3条第1項該当評議員）
2月下旬 栄養学雑誌第72巻第1号発送（次期評議員候補者推薦依頼）
3月31日 推薦締切
4月26日 理事会（次期評議員候補者選任の議）
8月20日 評議員会（次期評議員候補者選任の議）
8月20日 26年度通常総会（次期評議員選任の議）
11月1日 評議員就任（委嘱状送付）
3. 役員選出方法の見直し－関連細則の改定－…主な改定事項として次の4点が説明され、該当する細則（理事長及び副理事長に関する細則、理事に関する細則、監事に関する細則）の改定案が配付された。監事から、理事候補者定数を決する基準評議員数に関わる条文は、解釈に齟齬が生じないように明解に定めて欲しい旨、発言があった。本件の議決は次回理事会で行うこととし、各理事持ち帰って検討し、質疑・意見等を3月31までに事務局へ提出することとした。
- 〔主な改定事項〕
理事候補者選挙実施時期、選挙で選出する理事の名称、理事候補者選挙方法（選挙区分の明文化、定数の考え方）、指定職・指定幹事
4. 学術総会剰余金－支部追加活動費－にかかる規程の改定…前回理事会で学術総会剰余金の使途について、当該学術総会担当支部会の活動費に追加することを採択した。本理事会では、関連規程の改定を提案することとなっていたが、税理士から、①規程を整備する前に「学術総会剰余金」について理事会の認識を確認すること、②「学術総会剰余金」の性質から「当該支部会」ではなく「全支部会」への活動費の追加を検討してはいかがか？、の2点、指摘を受けたことが説明された。①について、学術総会剰余金と予算計上している「準備金」相当分の考え方について説明があり、これを確認した。②について、税理士の指摘を受け、追加活動費の対象を全支部会とする関連規程の改定案が配付され、この議決は次回理事会で行うこととし、各理事持ち帰って検討し、質疑・意見等を3月31日までに事務局へ提出することとした。
5. 今後の会議予定…次のとおり了承した。
〔総会〕 8月20日
〔評議員会〕 8月20日
〔理事会〕 4月26日、7月26日、8月20日
〔監事会〕 8月19日
〔役付き理事打合せ〕 4月13日、7月12日
〔栄養学雑誌編集委員会〕 2月1日、4月5日、6月8日、8月9日、10月4日、11月30日
6. 日本学術会議会員及び連携会員候補者に関する情報提供…大西隆日本学術会議会長から日本学術会議協力学術研究団体宛に発信された依頼文書が回覧された。本学会からも情報提供を行うこととし、候補者の人選は理事長に一任することを了承した。
- 【Ⅱ. 財務関連事項】**
1. NP0第11期経費執行状況…1月6日現在の経費執行状況（活動計算書、貸借対照表、事業別損益計算書、収支計算内訳書）が配付され、概ね予算どおりの執行であることが報告された。今期決算について、26年度通常総会が8月開催となるため、今期の支部会計報告は7月初旬にお願いしたい旨、富田財務担当理事から説明があった。
2. NP0第11期会員（会費納入）の状況…①今期の都道府県別会員数（支部会集計付き）、②NP0第2期（平成16年度）から今期までの新規・継続別正会員数（全国、支部会別）、③NP0第7期（平成21年度）から今期までの都道府県別正会員数（新規・継続別）が配付された。
3. 平成26年4月1日消費税率引き上げの対応…消費税率が8%に引き上げられるに伴い、①学術総会事業における消費税相当分算出方法、②学会の各種料金、の改定が提案され、これを承認した。承認された栄養学雑誌関係料金（査読料、超過ページ料金）は投稿規定に定めてい

るため、次回（2月1日）編集委員会の議を経て投稿規定を改定すること、栄養学雑誌72巻1号（2014年2月発行号）で会員に周知することを確認した。

【Ⅲ. 編集関連事項】

1. 栄養学雑誌投稿・掲載等の状況・・・2013年の投稿・掲載状況が配付資料により報告された。栄養学雑誌第71巻第5号の乱丁について、印刷会社から謝罪と今後の対策についての報告を受けたことが説明された。

【Ⅳ. 学術関連事項】

1. NP0第11期事業執行状況・・・1月6日現在の事業執行状況が配付資料により報告された。
2. 平成26年度学会賞・奨励賞の選考・・・次の選考日程を承認した。例年、推薦件数が少なく、特に昨年は奨励賞候補者の推薦が0件だったことについて、理事長から発言があり、候補者の推薦に積極的に尽力することを確認した。

〔選考日程〕

- 1月15日 候補者推薦依頼文書送付（全評議員）
- 2月下旬 栄養学雑誌第72巻第1号発送（学会賞・奨励賞候補者推薦依頼）
- 3月7日 推薦締切
- 4月14日～23日 学会賞等選考委員会
- 4月26日 理事会（受賞者決定）

3. 第60回学術総会開催報告・・・事業概要と会計報告が配付された。第60回学術総会の剰余金については、本理事会提案の「学術総会剰余金－支部追加活動費－にかかる規程の改定」の議決後に、審議することとした。税理士から、学術総会事業における法人税課税対象収支は支出超過だが、今期の学会会計は所得金額が生じる見込を指摘されている旨、説明があった。
4. 第61回学術総会準備状況・・・プログラム概要とポスター・チラシが配付された。①学術総会のテーマである「実践栄養の連携と調整」を内外に発信することを目途にプログラムを組んだこと、②その一つとして学会設立60周年記念シンポジウムを公益社団法人日本栄養・食糧学会、日本臨床栄養学会と共催で企画したこと、③4,000名の参加者確保に向け理事会の尽力をお願いしたい旨、中村第61回学術総会会長から発言があり、これを了承した。
5. 第62回学術総会準備状況・・・日程、実行委員名簿、実行委員会規約が配布された。学術総会顧問に大部正代公益社団法人福岡県栄養士会会長、学術総会副会長に南久則熊本県立大学大学院教授が推薦され、これを承認した。

〔日程〕平成27年（2015年）9月24日（木）～26日（土）

〔会場〕福岡県福岡市・福岡国際会議場、福岡サンパレス

〔テーマ〕実践栄養の連携と展開～食べることは生きること、繋がること～九州・沖縄で、オ・モ・テ・ナ・シ！

6. 第63回（2016年）学術総会会長候補者の推薦・・・NP0第10期5月度理事会（平成25年5月18日）で承認された、学術総会開催地の支部会持ち回り順が配付された。第63回を担当する東北支部会は、次回（あるいは次々回）理事会に学術総会会長候補者を提案することを確認した。
7. 倫理審査委員会報告・・・1月8日現在の倫理審査状況が配付資料により報告された。
8. 実践栄養学研究セミナーin横浜（2014年開催）事業・・・第61回学術総会の協力を得て、学術総会初日に学術総会会場にて開催する準備を行っていることが報告された。セミナーのテーマ・企画について、理事からの積極的な提案をお願いしたい旨、酒井学術担当理事から発言があった。
9. 関連学協会等との連携・・・次の事業について後援依頼等があり、これを了承した。
 - （1）生活科学系コンソーシアム「第2回シンポジウム」周知協力
 - （2）日本学術会議健康・生活科学委員会家政学分科会「公開シンポジウム」周知協力
 - （3）公益社団法人米穀安定供給確保支援機構「平成25年度食育健康サミット」後援

- (4) 日本小児科学会・日本小児保健協会・日本小児科医会「第8回子どもの食育を考えるフォーラム～小児における食の安全～」後援
- (5) 独立行政法人国立健康・栄養研究所「アジア栄養ネットワークシンポジウム」後援
- (6) 公益財団法人不二たん白質研究振興財団「公開講演会大豆のはたらきin福岡ー食を通して健やかな人生をー」協賛御礼・開催報告
- (7) 公益財団法人日本食品化学研究振興財団「平成26年度研究等助成対象者募集」周知協力と「平成25年度後期シンポジウム開催等助成決定」報告
- (8) 笹川スポーツ財団「2014年度笹川スポーツ研究助成募集」周知協力
- (9) 公益財団法人日本心臓財団「第3回日本心臓財団・日循協・アストラゼネカ臨床疫学研究助成」周知協力
- (10) 乳の学術連合「平成26年度学術研究公募」周知協力
- (11) 公益財団法人住友生命健康財団「2013年度スミセイコミュニティスポーツ推進助成プログラム」選考結果報告

【V. 広報関連事項】

1. ホームページ事業・・・1月8日までの更新情報が配布資料により報告された。

【VI. 国際関連事項】

1. 大韓地域社会栄養学会との学術交流・・・11月1日に韓国ソウル市のSETECで第4回日韓シンポジウムを開催した。本学会から、杉山みち子神奈川県立保健福祉大学教授、田中弥生駒澤女子大学准教授がシンポジストとして参加した。学会員の参加者は6名、内2名は同日開催された大韓地域社会栄養学会秋期学術大会でポスター発表を行った。同日付けでシンポジウムの費用負担（主催学会がシンポジウムの講演者2名、学会代表者1名、計3名の宿泊費2泊分と往復の航空運賃（エコノミークラス）を負担する）等について締結した覚書が示された。第5回日韓シンポジウムは第61回学術総会のプログラムの一つとして開催する。第4回シンポジウム会場にて杉山教授から第5回シンポジウムの参加と第61回学術総会への演題発表について案内を行ったことが報告された。
2. IUNS栄養学のリーダーシップ育成国際ワークショップ・・・3月11日～13日に、独立行政法人国立健康・栄養研究所等において、本学会と日本学術会議IUNS分科会、公益社団法人日本栄養・食糧学会、独立行政法人国立健康・栄養研究所の4団体主催で開催する。海外からの参加者は12カ国17名、国内参加者は13名であることが報告された。
3. 第12回アジア栄養学会議（ACN2015）共催企画・・・宮澤陽夫第12回アジア栄養学会議組織委員長からシンポジウム・教育講演の共催企画について依頼があり、これについて共催することを承認した。共催する場合、演者の招聘に伴う費用は共催団体の負担となることを確認した。
4. 2021年（第22回）国際栄養学会議（ICN）・・・準備委員会を立ち上げる作業に入っていることが報告された。

【VII. 支部会報告】

1. 北海道支部会・・・第11回支部会学術総会は、板垣康治北海道文教大学教授を学術総会会長とし、12月1日に北海道大学学術交流会館で市民公開講座とともに開催した。前回理事会で了承された支部会奨励賞2件の表彰を行った。講演集が回覧された。
2. 東北支部会・・・8月18日に設立総会を開催し、吉池信男青森県立保健大学教授が支部長となった。3月29日に市民公開講座を、第1回支部会学術総会は、鈴木道子山形県立米沢女子短期大学副学長を学術総会会長とし11月1日～2日に開催する。
3. 関東・甲信越支部会・・・9月12日に設立総会を開催し、武見ゆかり女子栄養大学教授が支部長となった。第1回支部会学術総会は、武見ゆかり支部長を学術総会会長とし、2月23日に開催する。
4. 北陸支部会・・・第9回支部会学術総会は、清水瑠美子（公社）福井県栄養士会会長を学術総会

会長とし、2月23日に福井織協ビルで市民公開講座とともに開催する。

5. 東海支部会・・・第3回支部会学術総会は、長村洋一鈴鹿医療科学大学教授を学術総会会長とし、6月29日に鈴鹿医療科学大学で市民公開講座とともに開催する。
6. 近畿支部会・・・支部長の任期満了に伴い12月8日の支部会総会で、春木敏大阪市立大学大学院教授が支部長に選出された。第12回支部会学術総会は、幸林友男千里金蘭大学教授を学術総会会長とし、12月8日に千里金蘭大学で開催した。日本栄養・食糧学会近畿支部会と共催する第4回栄養学を志す若手のためのフォーラムは、3月3日に京都女子大学で開催する。第13回支部会学術総会は、宮崎由子京都女子大学教授を学術総会会長とし開催する。
7. 中国支部会・・・第10回支部会学術総会は、坂井堅太郎広島女学院大学教授を学術総会会長とし、7月5～6日に、広島女学院大学で市民公開講座（7月5日）とともに開催する。
8. 四国支部会・・・第1回学術総会（特別講演）を市民公開講座とともに開催すべく、準備中である。
9. 九州・沖縄支部会・・・8月27日～28日に設立総会・第1回支部会学術総会を開催し、南久則熊本県立大学大学院教授が支部長となった。第2回支部会学術総会は9月2日～3日に、佐賀県で開催する。

【VIII. 回覧資料による各種報告】

1. 学会誌転載許諾・・・回覧資料により報告があり、これを了承した。
 - (1) サラヤ株式会社
 - (2) お茶の水女子大学附属図書館（機関リポジトリ）
 - (3) 医療法人博仁会志村大宮病院
2. 一般社団法人出版社著作権管理機構「複写にかかる著作権使用料（平成24年度分）」の分配報告・・・回覧資料により報告があり、これを了承した。

VII. 議事録署名人の選任に関する事項

議長より本日の議事をまとめるに当たり、議事録署名人2名を選任することを諮り、春木敏理事及び藤田修三理事を選任することを全員異議なく承認した。

VIII. その他

議事に先立ち、故川上純子評議員（平成25年11月17日逝去）の逝去を悼み黙禱を捧げた。

平成25年11月1日付け新任の岡純理事、齋藤長徳理事、酒井映子理事、坂井堅太郎理事、田中弘之理事、藤田修三理事の紹介を行った。また理事会終了後、会場を移動し新年懇親会（希望者のみ参加）を行った。

参考資料として「特定非営利活動法人日本栄養改善学会細則」、「特定非営利活動法人日本栄養改善学会理事会申し合わせ事項」が配布された。

以上